

2021年度 第1四半期決算 説明資料

2021年7月30日

四国電力株式会社

目次

連結決算のポイント 1

I. 2021年度 第1四半期 連結決算の概要

- 収支概要 2
- 販売電力量 3
- 発電電力量 4
- 収支明細 5
- セグメント情報 8
- 財政状態 9

II. 2021年度 連結業績予想および配当予想 10

2021年度 第1四半期決算 補足データ

- 電化住宅採用口数の推移（累計） 11
- 化石燃料の消費実績 12
- 出水率、主要諸元の需給関連費への影響額 13
- 燃料費調整制度による期ずれ影響 14
- 設備投資額（連結） 15

連結決算のポイント

【2021年度 第1四半期決算】

〔売上高〕卸販売収入は増加したものの、収益認識に関する会計基準の適用に伴う売上減や燃料費調整額の減などから、前年同期に比べ477億円減収の1,177億円。

なお、当該会計基準の適用影響を除けば、前年同期に比べ9億円増収。

〔営業費用〕燃料価格の上昇等はあったものの、収益認識に関する会計基準の適用に伴う費用減に加え、人件費や修繕費も減少したことなどから、前年同期に比べ422億円減少の1,212億円。なお、当該会計基準の適用影響を除けば、前年同期に比べ66億円増加。

〔損益〕前年同期に比べ、営業損益は54億円悪化の34億円の損失、経常損益は52億円悪化の38億円の損失、親会社株主に帰属する純損益は、36億円悪化の28億円の損失。

【2021年度 連結業績予想】

2021年4月に公表した内容から変更なし

〔売上高〕2021年度より収益認識に関する会計基準が適用されるため、再エネ固定価格買取制度に係る賦課金は売上計上せず、交付金は購入電力料から控除することなどから、前年度に比べ1,692億円減収の5,500億円と想定。

〔利益〕伊方発電所3号機の運転再開などから、前年度に比べ、営業利益は121億円増益の185億円、経常利益は129億円増益の180億円、親会社株主に帰属する当期純利益は101億円増益の130億円と想定。

【配当】

2021年4月に公表した内容から変更なし

- 2021年度の配当予想については、1株当たり配当金を前年度と同額の間15円、期末15円の年間30円と想定。

I. 2021年度 第1四半期 連結決算の概要

収支概要 (収支の明細は5～7ページ参照)

(億円)

	2021年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年差	伸び率
売上高	1,177	1,654	▲ 477	▲ 28.8%
営業費用	1,212	1,634	▲ 422	▲ 25.8%
営業損益	▲ 34	20	▲ 54	-
支払利息ほか	3	5	▲ 2	▲ 28.7%
経常損益	▲ 38	14	▲ 52	-
法人税ほか	▲ 10	6	▲ 16	-
親会社株主に帰属する 純損益	▲ 28	8	▲ 36	-

(百万kWh)

	2021年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年差	伸び率	主な差異理由
小売販売	5,111	5,060	51	1.0%	・新型コロナウイルス感染症により電力需要が落ち込んだ 前年の反動増など
電 灯	1,709	1,801	▲ 92	▲ 5.1%	
電 力	3,402	3,259	143	4.4%	
卸販売	1,650	895	755	84.4%	・卸電力取引所への販売増など
総販売電力量	6,761	5,955	806	13.5%	

※ 決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

四国4県都の平均気温

(℃)

	3月	4月	5月	6月	3-6月平均
実 績	12.7	15.6	19.6	23.3	17.8
平 年 差	3.0	0.7	0.3	0.5	1.1
前 年 差	1.2	1.8	▲ 0.8	▲ 0.9	0.3

発電電力量

(百万kWh)

		2021年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年差	伸び率	備考
自 社	水 力	669	723	▲ 54	▲ 7.5%	・出水率 101.7% → 104.8%
	原 子 力	-	-	-	-	
	新 工 ネ	2	1	1	98.5%	
	火 力	2,877	1,977	900	45.6%	
他 社 受 電		3,515	3,657	▲ 142	▲ 3.9%	・うち水力 314 → 329 ・うち新エネ 1,267 → 1,391

※決算日において未確定であるインバランス電力量等は含めていない。

※自社の発電電力量は、従来、発電端電力量を記載してきたが、当第1四半期より送電端電力量に変更している。

これに伴い、前第1四半期の値を送電端電力量に組み替えて記載している。

(億円)

(差異理由：億円)

		2021年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年差	伸び率
売上高	電気事業	789	981	▲ 192	▲ 19.6%
	卸販売収入	124	57	67	114.7%
	その他収入	71	397	▲ 326	▲ 82.1%
	小計	984	1,437	▲ 453	▲ 31.5%
	その他事業	193	217	▲ 24	▲ 11.3%
	合計	1,177	1,654	▲ 477	▲ 28.8%
営業費用	人件費	119	145	▲ 26	▲ 17.6%
	燃料費	165	98	67	67.2%
	購入電力料	262	563	▲ 301	▲ 53.4%
	減価償却費	121	120	1	1.2%
	修繕費	118	133	▲ 15	▲ 11.2%
	その他費用	258	381	▲ 123	▲ 32.1%
	小計	1,046	1,442	▲ 396	▲ 27.5%
	その他事業	166	192	▲ 26	▲ 13.6%
	合計	1,212	1,634	▲ 422	▲ 25.8%
営業損益	▲ 34	20	▲ 54	-	
支払利息ほか	3	5	▲ 2	▲ 28.7%	
経常損益	▲ 38	14	▲ 52	-	
法人税ほか	▲ 10	6	▲ 16	-	
親会社株主に帰属する純損益	▲ 28	8	▲ 36	-	

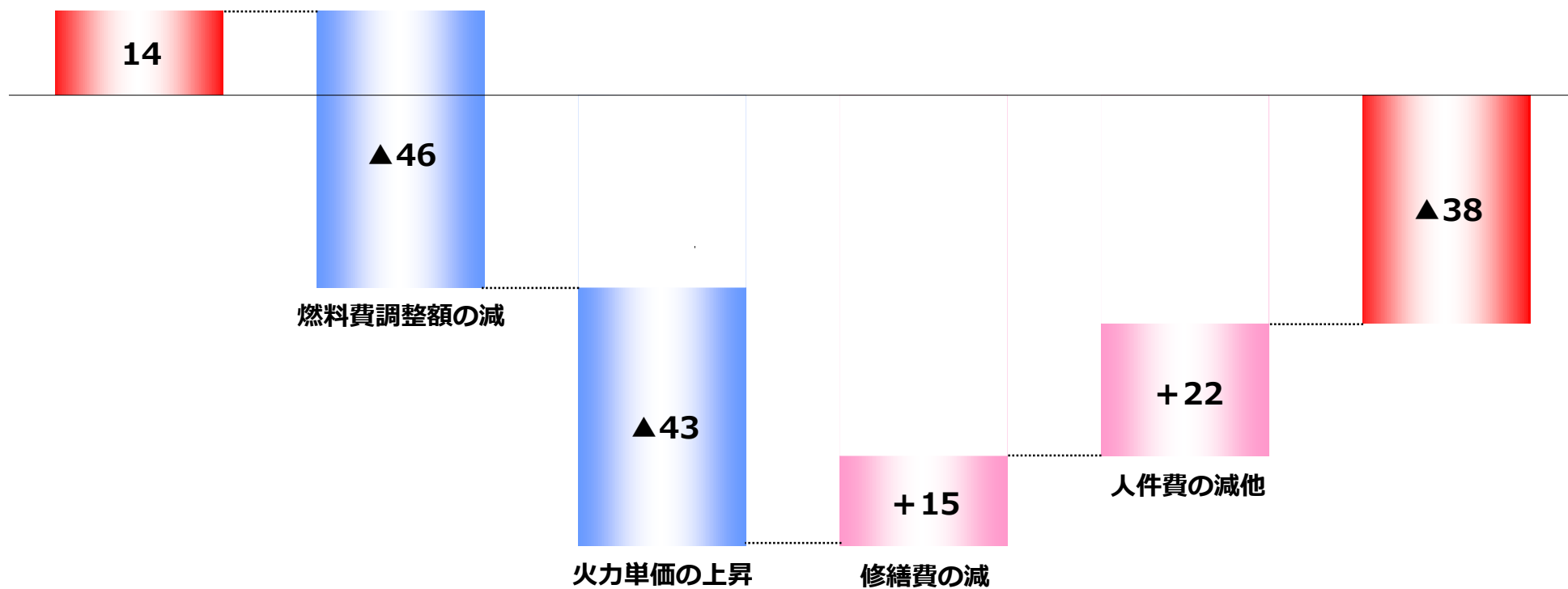
- ① 【小売販売収入】
 - ・販売電力量の増 (+8)
 - ・燃料費調整額の減 (▲46)
 - ・収益認識会計基準の適用に伴う賦課金の減 (▲129) 他
 - ② 【その他収入】
 - ・収益認識会計基準の適用に伴う交付金の減 (▲334) 他
 - ③ 【人件費】
 - ・退職給付に係る数理計算上の差異の償却影響 (▲20) 他
 - ④ 【需給関連費（燃料費+購入電力料）】 ▲235
 - ・総販売電力量の増 (+47)
 - ・火力単価の上昇 (+43)
 - ・収益認識会計基準の適用に伴う購入電力料からの交付金控除額 (▲323) 他
- | | | 2021年度
第1四半期 | 2020年度
第1四半期 | 前年差 |
|--------------|------------|-----------------|-----------------|------|
| 全日本
CIF | 石炭 (\$/t) | 105 | 82 | 23 |
| | 原油 (\$/b) | 67 | 32 | 35 |
| | LNG (\$/t) | 437 | 462 | ▲ 25 |
| 為替レート (円/\$) | | 110 | 108 | 2 |
- ⑤ 【修繕費】
 - ・火力関係工事の減 (▲25) 他
 - ⑥ 【その他費用】
 - ・収益認識会計基準の適用に伴う納付金の減 (▲129) 他

【経常損益 前年との差異内訳】

(単位：億円)

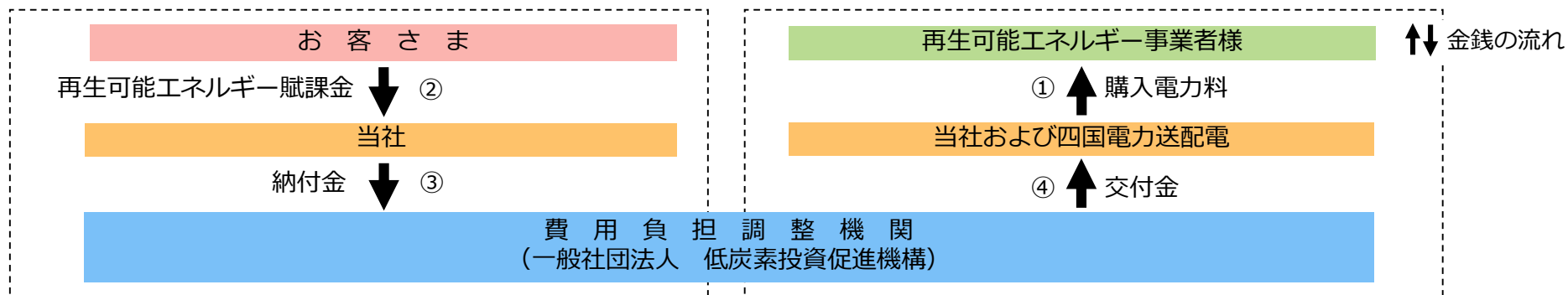
2020年度
第1四半期

2021年度
第1四半期



【参考】再エネ固定価格買取制度の仕組みと会計整理変更

- 2021年度より収益認識に関する会計基準が適用されるため、再エネ固定価格買取制度に係る賦課金は売上計上せず、交付金は購入電力料から控除することから、売上高は当該会計基準を適用しない場合に比べて464億円減少しますが、費用も同額減少しますので、収支への影響はございません。



単位：億円

② 再生可能エネルギー賦課金	141	① 購入電力料	403
当社が、お客さまから電気料金の一部として回収		当社および四国電力送配電は、再生可能エネルギー事業者様に購入電力料をお支払い	
③ 納付金	141	④ 交付金	323
費用負担調整機関は、当社から納付金を徴収		費用負担調整機関は、当社および四国電力送配電が買取に要した費用（電気価値分を控除）を交付	

※ 数値は2021年度第1四半期実績値を用いている

	変更前	変更後
売上高	②賦課金	141
	④交付金	323
費用	①購入電力料	403
	④交付金	▲323
	③納付金	141
	②賦課金	▲141

売上高の減：464億円

費用の減：464億円

収支影響なし

(億円)

			2021年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年差	主な差異理由 (内部取引消去前)	
連 結		売上高	1,177	1,654	▲ 477		
		経常損益	▲ 38	14	▲ 52	-	
セグメント (内部取引消去前)	電気事業	発電・販売	売上高	952	1,374	▲ 422	再エネ賦課金・交付金の減(▲414) 他
			経常損失	▲ 72	▲ 24	▲ 48	火力単価の上昇(▲43) 他
	送配電	売上高	440	440	▲ 0		
		経常損益	▲ 2	7	▲ 9	調整力確保費用の増	
	情報通信事業		売上高	107	108	▲ 1	
			経常利益	20	19	1	
	エネルギー事業		売上高	45	49	▲ 4	LNG販売事業の減 他
			経常利益	3	7	▲ 4	
	建設・エンジニアリング事業		売上高	111	94	17	請負工事の受注増 他
			経常利益	5	0	5	
その他事業		売上高	80	113	▲ 33	商事業における収益認識会計基準の適用に伴う減 他	
		経常利益	7	3	4		

＜参考＞設備投資額

(億円)

	2021年度 第1四半期
電気事業（発電・販売）	138
（うち伊方発電所にかかる安全対策工事）	(59)
（うち西条1号機リプレース）	(42)
電気事業（送配電）	78
情報通信事業	10
エネルギー事業、建設・エンジニアリング事業、その他事業	7
合 計（未実現消去前）	235

(億円)

	2021年度 第1四半期末	2020年度末	増 減	主な増減理由
資 産	14,577	14,304	273	
(事 業 用 資 産)	(8,644)	(8,575)	(69)	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資 + 226 ・減価償却 ▲ 143 他
(投 資 等)	(4,736)	(4,537)	(199)	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ交付金に係る未収入金の増 + 125 ・固定資産税の前納に伴う前払費用への計上 + 75 他
負 債	11,343	11,024	319	
(社 債 ・ 借 入 金)	(8,216)	(7,716)	(500)	<ul style="list-style-type: none"> ・社債の増 + 100 ・長期借入金の増 + 100 ・コマーシャル・ペーパーの増 + 300
(未 払 金 等)	(3,126)	(3,307)	(▲ 181)	<ul style="list-style-type: none"> ・買掛金の減 ▲ 85 ・未払税金の減 ▲ 82 他
純 資 産	3,233	3,279	▲ 46	
(利 益 剰 余 金)	(1,732)	(1,793)	(▲ 61)	<ul style="list-style-type: none"> ・配当金支払い ▲ 31 ・親会社株主に帰属する純損失 ▲ 28 他

自己資本比率	22.0%	22.8%	▲ 0.8%
--------	-------	-------	--------

Ⅱ. 2021年度 連結業績予想および配当予想

2021年4月に公表した内容から変更なし

連結業績予想

(億円)

	2021年度予想	<参考> 2020年度実績
売上高	5,500	7,192
営業利益	185	64
経常利益	180	51
親会社株主に帰属する 当期純利益	130	29
1株当たり 当期純利益	63円	15円

電力販売予想

(億kWh)

		2021年度予想	<参考> 2020年度実績
小売販売	電灯	78.3	82.1
	電力	140.5	137.8
	計	218.7	219.9
卸販売		75.1	58.7
総販売電力量		293.8	278.6

1株当たり配当金

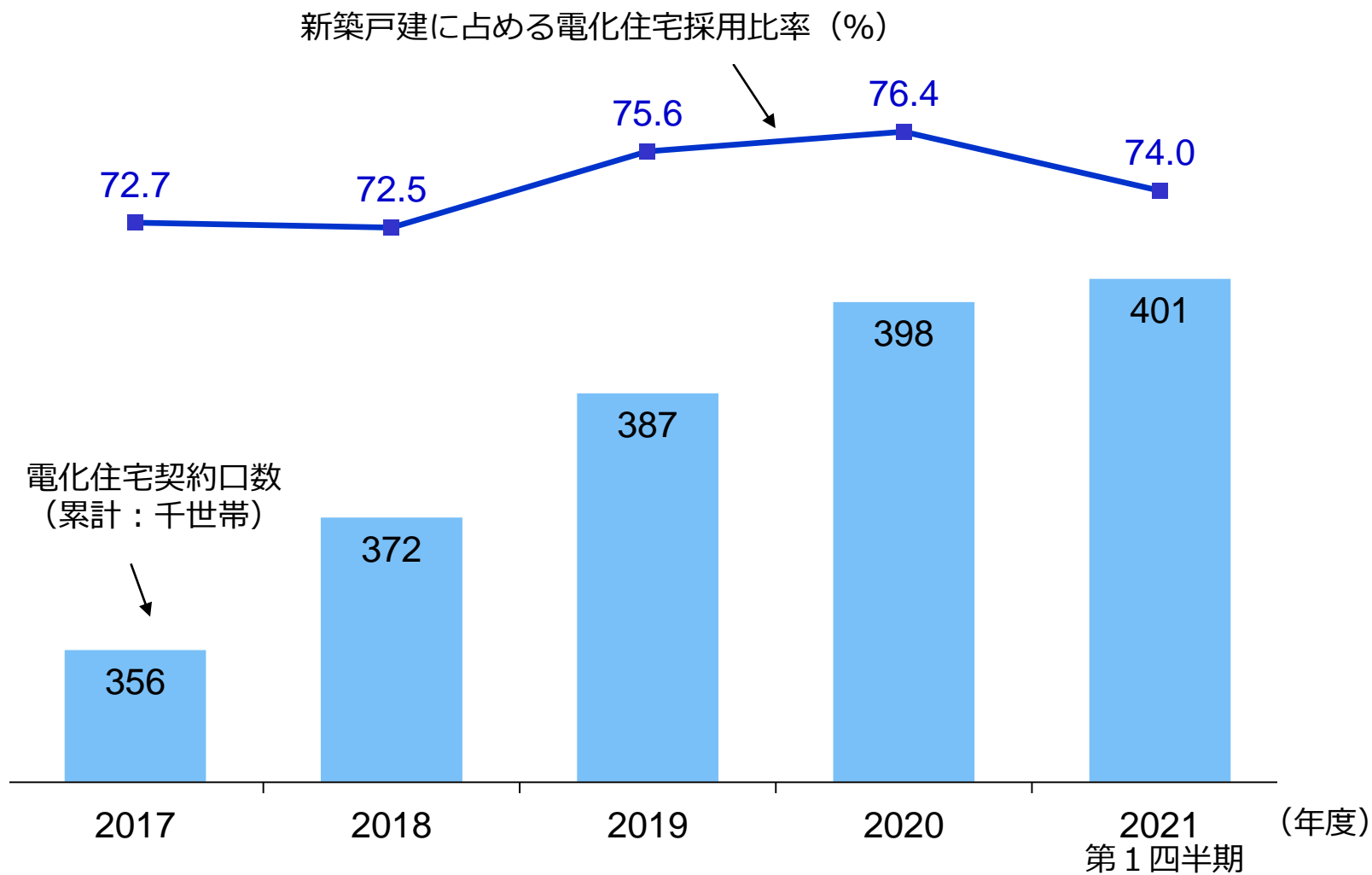
	2021年度予想	<参考> 2020年度実績
中間配当	15円	15円
期末配当	15円	15円

前提諸元

	2021年度予想	<参考> 2020年度実績
伊方3号設備利用率(%)	42	-
石炭CIF価格(\$/t)	95	79
原油CIF価格(\$/b)	65	43
為替レート(円/\$)	110	106

2021年度 第1四半期決算 補足データ

- 電化住宅契約口数の推移（累計）
- 化石燃料の消費実績
- 出水率、主要諸元の需給関連費への影響額
- 燃料費調整制度による期ずれ影響
- 設備投資額（連結）

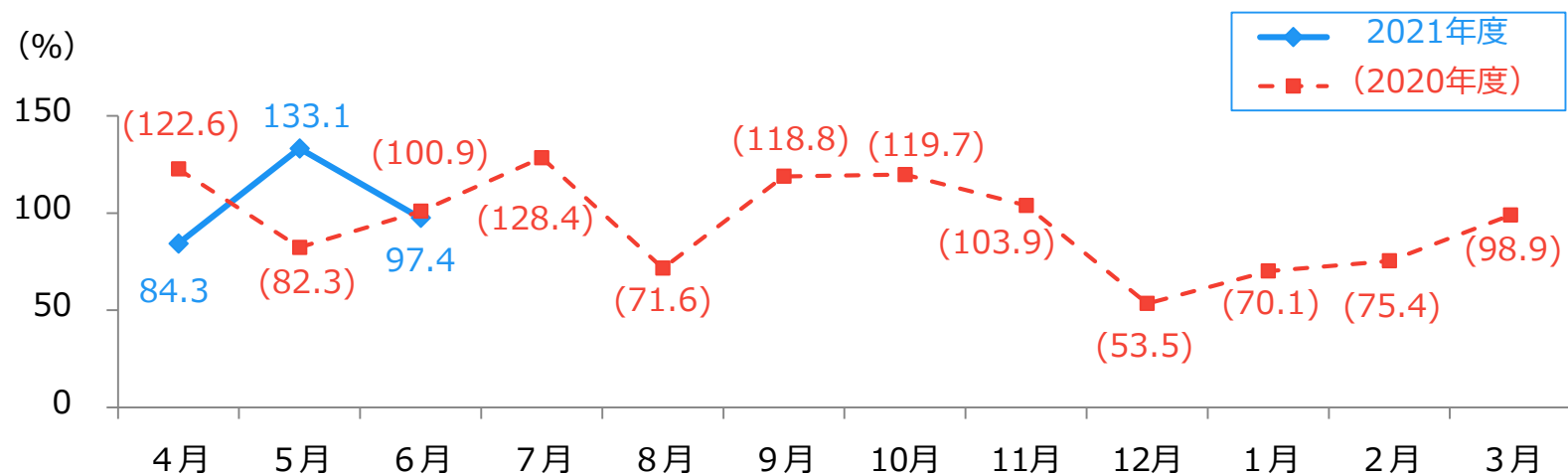


	2021年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年差
石炭 (万t)	77.0	47.9	29.1
重油 (万kl)	4.1	0.3	3.8
原油 (万kl)	-	0.0	▲0.0
LNG (万t)	7.0	6.5	0.5

[燃料諸元]

	2021年度 第1四半期	2020年度 第1四半期	前年差
石炭通関CIF (\$/ t)	105	82	23
原油通関CIF (\$/ b)	67	32	35
LNG通関CIF (\$/ t)	437	462	▲ 25
為替レート (円/\$)	110	108	2

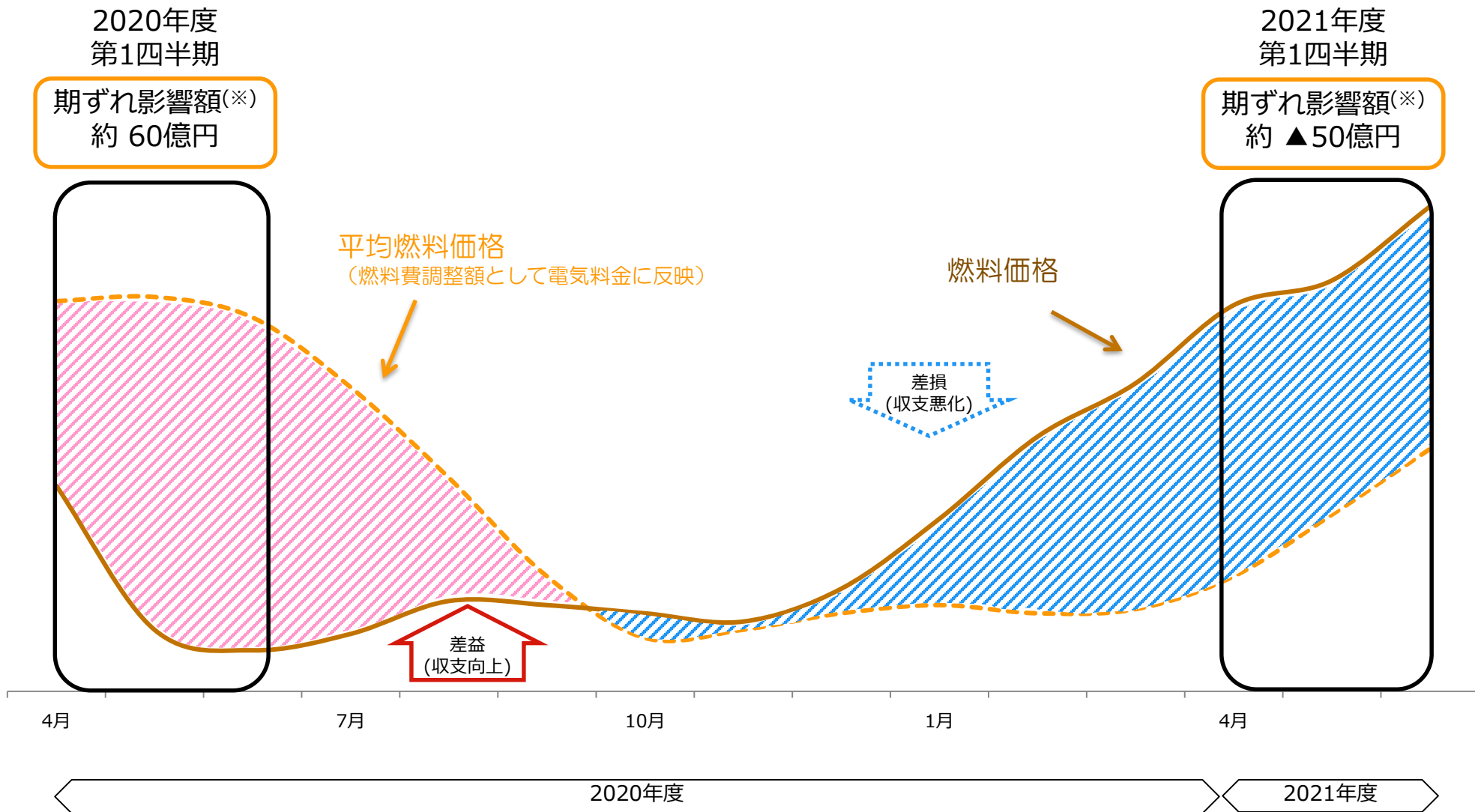
出水率の推移



主要諸元の需給関連費への影響額

(億円)

	2021年度 第1四半期
石炭CIF(1\$/t)	1
原油CIF(1\$/b)	0.4
為替レート(1円/\$)	2
原子力利用率(1%)	1
出水率(1%)	1



(※) 燃調期ずれ影響額は、実際の燃料費調整額と燃料価格の適用に遅れが無いと仮定した場合の金額の差額。

(億円)

	2021年度 第1四半期	(参考) 2020年度
発電・販売事業	138	556
うち 再エネ	4	28
うち 火力	49	202
うち 原子力	77	248
うち 原子燃料	4	71
送配電事業	78	216
うち 送電	15	54
うち 変電	30	62
うち 配電	25	79
電気事業計	217	772
その他の事業	17	98
設備投資額※	235	871

※未実現利益消去前

【伊方発電所の安全対策費の見通し】

(単位：億円)

		総額 (見通し)	2011～2021年度1Q 実績	
				(再掲) 2021年度1Q
設備対応	短期対策	約 720	717	—
	中長期対策	約 1,140	960	59
解析・評価など		約 240	240	—
合 計		約 2,100	1,918	59

おことわり

本プレゼンテーションに含まれている業績見通し、将来の予測に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

実際の業績等につきましては、様々な要因により、記載されている見通し等とは異なる場合がありますことをご承知おきください。

なお、実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済・社会情勢、エネルギー政策や電気事業制度、原子力規制の変更、競争の進展、気温変動等の気象状況、急速な為替や燃料価格の変動などがあります。



四国電力株式会社

しあわせのチカラになりたい。